

「長崎港元船地区整備構想（案）」に対するパブリックコメント対応一覧

「長崎港元船地区整備構想（案）」について、パブリックコメントを実施しましたところ、貴重なご意見をいただき厚くお礼申し上げます。

お寄せいただいたご意見に対する考え方をまとめましたので、公表します。

1. パブリックコメントの期間 令和6年1月31日（水）～2月27日（火）

2. 意見数 12件

<主なご意見>

- 施設間のデッキ接続による歩行者回遊性の確保
- 魅力的な広場や緑あふれる街としての賑わいと景観性の向上
- 長崎の魚をアピールできる観光交流施設や眺望を生かしたホテル等の誘致
- 施設の統一感あるデザインや夜景景観への配慮による魅力向上
- 公共交通アクセスの向上
- 観光周遊船の誘致および交通船としての連結

3. 意見への対応区分の内容

対応区分	対応内容	件数
A	案に反映させるもの	0件
B	案に既に盛り込まれているもの、案の考え方や姿勢に合致し、今後、作成・遂行の中で反映させていくもの	4件
C	今後の政策を進める際の参考等とするもの	7件
D	反映が困難なもの	0件
E	その他	1件
合計		12件

4. 提出されたご意見の要旨及び県の考え方

P1～2 〈“集い・交わり・繋がる” みなとまちの更なる発展〉

No.	対応区分	意見の要旨	件数	意見に対する考え方
1	B	<p>1. コンセプト</p> <p>元船地区を「海の玄関口」として海、船の航行、島、人の交流という設定となっているが、船については、航行だけではなく「造船」も加える。対岸の造船所は長崎を支えた産業であり、歴史的に「元船地区は長崎の歴史を担った地域である。そこで「歴史を語り継ぐ」をコンセプトに加える。</p>	1件	<p>整備構想では、長崎の町建てからの歴史を繋いできた中で、土地の記憶を未来へ繋ぐため、利用される人々のニーズを踏まえながら必要となる機能の検討を行っています。</p>

P10 〈ポイント3 車両や歩行者にとって優しいみちづくりによる回遊性向上〉

No.	対応区分	意見の要旨	件数	意見に対する考え方
2	C	<p>A:長崎・五島間のフェリーによる車両や業務用車両以外の車両は、この地域への乗り入れを制限する。その代わりに公共交通機関へのアクセスの向上を図る。その為には、路面電車や乗合バスの走行ルートを検討していただきたい。</p> <p>B:歩行者回遊性の向上は、ここを訪れるあらゆる人が臨海部を楽しむ為にも重要であるので、これについては賛同。その為にもあらゆる人が安心して歩き、過ごすことができること」が大事であり、上記Aが必要。</p>	1件	<p>車両の制限を行うことは困難ですが、海陸の交通結節点として公共交通のアクセス性や利便性向上、歩行者の回遊性向上は重要視点だと考えており、今後、関係機関と連携を図りながら、具体的な検討に努めていきます。</p>

P10 <ポイント3 車両や歩行者にとって優しいみちづくりによる回遊性向上>

No.	対応区分	意見の要旨	件数	意見に対する考え方
3	C	<p>(提案1) スムーズにプラタナス広場に行けるようアミュプラザ本館の港側出口2階から屋根付きの動く歩道をプラタナス広場まで設置。イメージとしてはグラバー園及び香港島にある動く歩道</p> <p>(提案2) 動く歩道橋が設置できないようであれば、同じくアミュプラザ本館2階出口からスロープカーをにぎわい施設2階に乗り入れ。イメージとしては、稲佐山にあるデザインに優れたスロープカー。</p> <p>(提案3) スロープカーも不可能であれば、アミュプラザ本館屋上駐車場からにぎわい施設の屋上までロープウェイを通す。イメージとしては、横浜みなとみらい地区にあるような感じ。</p>	2件	<p>海陸の交通結節点として歩行者にとって優しいみちづくりによる回遊性の向上は、整備における重要なポイントと認識しています。今後、長崎市が長崎都心まちづくり構想で位置づけを予定している、長崎駅～元船地区間の歩行者回遊性向上のためのデッキ整備や交通事業者と連携を図りながら、ウォーカブルな動線の形成や新モビリティの導入など具体的な取組を検討する際の参考とさせていただきます。</p>

PI0 <ポイント1 暮らしを支える国内ターミナル機能等の強化による利便性向上>
 <ポイント3 車両や歩行者にとって優しいみちづくりによる回遊性向上>

NO.	対応区分	意見の要旨	件数	意見に対する考え方
4	B	<p>(提案1) 現在、ターミナル2階待合スペースはソファや椅子が少なく、高速船が欠航した際フェリーに乗り換える人で混雑する。修学旅行や団体ツアー客にも対応できるスペースと災害が起こった際、避難所としての機能も合わせて検討。</p> <p>(提案2) 交通機関のアクセスに関して、現在バス停がターミナルの玄関とは離れた位置にあり、雨の時にはとても不便で場所も分かりづらい。福岡空港国際線のように出発と到着を分けるなどスムーズにバスやタクシーに乗車できるよう施設機能と利便性の向上を検討。</p> <p>(提案3) 先を見通したボーディングブリッジの改修・新設をお願いしたい。</p> <p>24ページにある今後の展望“集い。交わり。繋がる”みなとまちの更なる発展を目指し次の2点を構想してほしい。</p> <p>①熊本港—長崎港—ハウステンボス—博多港に新航路を開設。JR九州に新しくクイーンビートルIIを建造依頼。新幹線と共に九州観光の回遊性と長崎港の魅力アップにつなげてほしい。</p> <p>②松ヶ枝棧橋—長崎港ターミナル—スタジアムシティ前(仮称)に小型観光連絡船を計画してほしい。</p>	1件	<p>ターミナルや駐車場に関するご提案については、頂いたご提案のとおり、待合空間の確保や、ボーディングブリッジ改修、バス停位置再編、駐車場棟との連結など交通結節機能の強化による利便性向上を本構想に盛り込んでおります。</p> <p>小型観光連絡船については、アクセス性向上および観光コンテンツとして、重要だと考えており、民間事業者からの提案を受けの中で、頂いたご意見も参考にさせていただきます。</p>

P10 〈ポイント4港、海が感じられる景観による魅力向上〉

No.	対応区分	意見の要旨	件数	意見に対する考え方
5	C	<p>A「外から見る元船地区の景観性向上」については次の場所からの視点場としては、鍋冠山、立山、稲佐山に加えて下記も確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風頭（龍馬像、展望台） ・市役所19階展望フロア ・県庁舎跡地 <p>B上記の為には、元船地区周辺の建物の低層化を実施する。（現在は港や海の景観を阻害している建物が多い。）</p> <p>【にぎわい施設】 （提案1） 新しくできるにぎわい施設の外観はアミュプラザ新館や出島ワーフ裏にあるリンガーハット・浜勝のようなレンガ色の色合いで、周辺施設と調和のとれた統一感のあるデザインにしてはどうか。 （提案2） 夜景演出の効果を発揮するため建物は3階程度とし、十八親和銀行本店や出島メッセのように建物自体を照明でライトアップして夜間も賑わいのある空間にしてほしい。</p> <p>【施設間連絡通路について】 （提案1） 連絡通路は長崎県美術館にあるようなガラスで覆われた通路をデザインしてほしい。周辺の景観を損なわず、歩行者にとって風雨の心配がない。 （提案2） 連絡通路に間接照明を設置することにより、周辺のそれぞれの施設と夜間もとぎれることなく元船地区全体の夜景を演出。</p>	2件	<p>長崎市や景観に関する専門家との協議を実施しながら、海・陸が感じられる景観を有する地区として、見る・見られる景観に配慮しつつ、心安らげる空間としての魅力向上に努めていきます。</p>

P I 1 〈ポイント及び取組イメージ〉

No.	対応区分	意見の要旨	件数	意見に対する考え方
6	E	ポイント2の「臨海部を活かした観光・交流機能等によるにぎわいの創出」における「にぎわい」とは具体的のどのようなものをイメージしているのか？（商業施設やスポーツ施設のにぎわいとは違うはず。）	1件	海陸の交通結節点としての機能を強化しつつ、長崎の農水産品の飲食・物販施設や、海への眺望を活かした体験型施設、イベントや憩い、待合利用でにぎわう緑地など、地元や観光客、インバウンドなど様々な人の交流空間としてのにぎわいを想定しています。

P I 2 〈全体配置計画〉「交通連結施設」

NO.	対応区分	意見の要旨	件数	意見に対する考え方
7	C	長崎が今後、国際観光都市へ発展するためこの元船地区にホテル建設を構想していただきたい。 (提案1)提案するホテルは35階～38階程度の高層ホテル。現在はタワーシティ95メートル28階建て・ライオンズタワー新大工町98メートル26階建てマンションが最高層。誘致計画していただきたいのはヒルトン・マジオントを超えるシャングリラ及びマンダリンオリエンタルクラスの富裕層向けの超高級ホテル。ホテルがあることで、24時間365日人の流れが止まることなく、夜景演出に効果を発揮させ続け、元船地区に高層ホテルがあることは稲佐山、女神大橋・鍋冠山・唐人景・風頭・立山など、どこから見ても街の中心となり、長崎の街のランドマークになると思う。	1件	海陸の交通結節点としての機能を強化しつつ、長崎の農水産品の飲食・物販施設や、海への眺望を活かした体験型施設、ホテル、イベントや憩い、待合利用でにぎわう緑地など、地元や観光客、インバウンドなど様々な人の交流空間としてのにぎわいを想定しています。 具体的に整備する施設については、民間事業者からの提案を受ける中で、頂いたご意見も参考にさせていただきます。

整備構想全体に対するご意見

NO.	対応区分	意見の要旨	件数	意見に対する考え方
8	B	<p>【私が望む長崎】</p> <p>1.長崎大水害を教訓にした街 大雨時には、低地に移転した県庁、県警、市役所、元船地区、等周辺一帯は水没する。徒歩や車での移動が出来ず、災害対策に支障が出る危険が迫っている。対策を考えた街づくりの優先度は高い。</p> <p>2.長崎駅から県庁、元船地区、出島、松ヶ枝、他観光地等を、徒歩や自転車で気軽に、楽しく散策できる、緑あふれる街にし、賑わいを創出する。</p> <p>3.長崎のイメージを確立する、メイン広場が必要。 鶴の港を有効活用し、親水空間があり、ランドマークがあり、長崎の魚をアピールする施設店舗があり、元船地区の海の玄関とも一体となり、長崎に行って見たいと思うメイン広場が必要と思う。</p> <p>4.長崎独特の斜面地と港を大切にす街づくりをしてほしい。斜面地からの眺望が悪くなれば、長崎は平凡な街になってしまう。長崎の風景を利用した新たな発想で鶴の港を見渡せる、行って見たいと思えるロケーションをお願いしたい。</p>	2件	<p>海陸の交通結節点としての機能強化や継続性・強靱性を確保しつつ、長崎の農水産品の飲食・物販施設や、海への眺望を活かした体験型施設、ホテル、イベントや憩い、待合利用でにぎわう緑地など、地元や観光客、インバウンドなど様々な人の交流空間としてのにぎわいを想定しています。</p> <p>また、屋上緑化や各施設の連結により、回遊性を向上させるとともに、景観による魅力の向上を本構想に位置づけております。</p>

整備構想全体に対するご意見

NO.	対応区分	意見の要旨	件数	意見に対する考え方
9	C	<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい施設・機能については周辺商店街や臨港部の既存施設に悪影響がないよう配慮いただきたい。 ・事業推進にあたっては、エリア内および周辺部の既存事業者に必要な理解を得て進めていただきたい。 ・整備にあたっては長崎市と密な連携をとっていただき、「長崎都心まちづくり構想」との連動性やまちなかとの回遊性に十分な配慮をいただきたい。 ・離島航路利用者に配慮し、交通渋滞対策を十分に検討していただきたい。 ・朝方観光に繋がるような朝市や朝食会場などの設置について検討していただきたい。 	1件	<p>事業を進める上では、元船地区に関わるも含め、様々な人々の理解や協力を得ながら進めていくことが重要であり、長崎市や長崎商工会議所をはじめ、関係機関等と連携・調整を図りながら、事業推進に努めていきます。</p> <p>また、歩行者回遊性の向上や道路改良等により、交通渋滞の緩和に取り組んでいくことを本構想に位置付けております。</p> <p>朝方観光につきましても、観光交流機能を早朝等も利用可能な機能性を具体的なイメージとして本構想に位置付けております。</p> <p>今後も頂いたご意見を参考にさせていただきます。</p>